

令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	28	学 校 名	静岡県立富士宮北高等学校	記載者	長谷川祥吾
------	----	-------	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	自己評価	関係者評価	意見
ア	規律・礼節・規範・帰属意識を醸成し、主体的で健全な生活態度を育成する。	・「服装・頭髮指導がしっかりしている」「マナーがよい」保護者評価が各90%以上 ・登校指導40日、昼巡視20日を通して挨拶、声掛けの励行 ・交通事故10件以内 ・交通安全教室4月に実施 ・ケイタイマナー教室1回実施、授業、LHR等で生徒自らが情報モラルを考える時間の実施	・保護者評価が「服装・頭髮指導がしっかりしている」97%(+4%)、「マナーがよい」97%(+12%)昨年度低下したが一昨年度よりも高い評価となった。しかし教員評価は下がった。駐輪指導は改善して成果が出た。 ・登校指導5日(±0日)、昼巡視29日(-1日)、下校指導4日(±0日)実施し挨拶の励行、携帯マナー指導を行った。 ・交通事故13件(+2件) ・交通安全教室4月に実施できた ・ケイタイマナー教室1回夏休み前に実施。	A	A	・日々の努力の賜物だと思います。 ・学校の印象が良いということが、伝わってきます。 ・自然な形で気持ちの良い挨拶ができていると思う。 ・目標は十分に達成したと考えられるが、交通事故の増加については気になる。自動車との出会い頭の衝突などは命に関わる事案となることが考えられるため、交差点での自転車の運転に対する指導を強化していただきたい。 ・客観的に服装や頭髮を見ても、乱れは無く問題無いと認識。教員の皆さんのご指導の成果だと思います。気になる点として交通事故が2件増加した事が気になります。どのような案件が多いのか分析し、特に死亡事故に繋がる様な案件については、しっかりと生徒に注意喚起する様お願いします。
		・「教職員は、悩みなどの相談(いじめ含む)にのってくれる」生徒評価90%以上 ・特別支援が必要な生徒への適切な配慮と支援の実施	・「教職員は悩みなどの相談にのってくれる」生徒評価91% ・特別支援教育の職員研修の実施、2名の生徒のケース会議を実施、富士宮分校職員との情報交換等を実施した	A	A	・特別支援学校のセンター的機能についてご存じない高校も少なくありません。 ・生徒と正面から向き合っていることはすばらしく良いことです。 ・特別支援教育の職員研修はとても大事だと考えています。次年度も継続してほしいです。 ・分校のコーディネーターを大いに活用していただき、情報交換や連携が取れる関係性に。 ・生徒に寄り添った指導を継続して行っていただきたい。 ・ひきつづき相談しやすい環境作りをお願いします。
		・行事（創立記念行事・式典等）を通じた校訓・校歌の理解・浸透	・式典、集会、創立記念講演会等を通じて、生徒は校訓に対する理解を深めることができた。 ・応援団長の指揮で校歌を歌った。	A B	A B	・校歌・校訓に対する理解を深めることが愛校精神に繋がると考える。引き続き大切にしていきたい。 ・生徒会等をとおして生徒が自主的に賛同できる様、手引きをお願いします。

イ	探究的な学習等を通して、自ら学ぶ態度・確かな学力を定着させ、将来社会で活躍できるグローバルリーダーを育成する。	・「分かりやすく学力が付く授業」85%以上 ・「自らの考えを表現できる生徒」60%以上 ・一日平均普通科90分以上、商業科60分以上 ・放課後の有効活用(委員会等の会議設定、学習指導、検定対策、部活動等)の実現に向けた教育課程検討委員会を実施する。	生徒 92% 保護者 89% 生徒 33% 普通科 147.1分 商業科 93.7分 教育課程検討委員会の年5回実施	A C B B	A B B B	・ICT活用授業が浸透しているようです。中身をどうするか等の議論等の段階に進むことが大切かと思います。 ・学年別や男女別などの分析が待たれます。子どもたちにとって「自らの考えを表現する」とはどのようなのかの提示も必要になるかと思っています。 ・数値的には達成しているのでAと判断しました。 ・自己調整学習の充実が図られると良い。 ・2年生のタンタンタイム(経済)を聴講したが、年々レベルアップしている。生徒ができないと感じる要因は何でしょうか？ ・学習時間に加え、日商簿記やITパスポートや英検など)学や就職に活きる資格の取得を意識させることが、更なる放課後時間の有効に繋がると考える。 ・よくやられている事は理解しています。ただしテーマ自体が大きすぎるのか、生徒の評価が33%とあまり評価が高くありません。目的に対する達成度合にズレが生じているのかもしれない。生徒の評価を上げるのなら、もう少し具体的なテーマにした方がいいのかもしれない。
	・ICTを活用した授業の実施率80%以上	・ICTを活用した授業の実施率は約84.3%		A	A	・生徒教職員とも相乗効果でよい。 ・引き続きお願いします。
	・「主体的対話的で深い学びの実現に結び付く授業改善に取り組んでいる」職員評価90%以上 ・新課程における適切な観点別評価の実施100% ・授業公開週間を年2回以上実施 ・生徒による授業改善のためのアンケート実施	・「主体的対話的で深い学びの実現に結び付く授業改善に取り組んでいる」職員評価89% ・授業研修週間を1、2学期に1回ずつ実施 ・生徒による授業改善のためのアンケートを1、2学期に1回ずつ実施	B	A	・概ね達成と思います。 ・授業改善はこれからも続けていくことを願っています。 ・個別最適な学びと協働的な学びの一体化が図られ、充実していると感じる。 ・ちょっとした事がSNSで拡散されてしまう時代でもありなかなか踏み込んだ事ができなくなっており、教員の皆さんの苦労も大変だと思います。研修会等に参加し時代に遅れない授業を学習する事も必要でしょうか	

		・充実した探究学習の実施 ・充実した内容の実施に向けての検討委員会の実施 5 回	・昨年度より系統立てた内容となった ・委員会全員で集まることは少なかったが、学年主任の先生方や学年担当の先生方とは、随時打ち合わせを行った。	A	A	・探求学習の内容を系統立てることは重要なことです。充実した学習になっていくと判断します。 ・随時の打ち合わせは、職員間の意思疎通が深まり、生徒への教育効果を高めると思います。 ・タンタタイムの内容が充実してきている。 ・引き続き取り組みをお願いします。
ウ	学んだ知識や技能を実際に活用した実践的商業教育を推進する。	・対外的な商業活動 20 名以上 ・3 年の課題研究発表会の実施 ・商業科 2 級以上取得 95%以上、1 級 3 種目以上取得 20%以上 ・「授業等で実践的な取組ができた」と答える生徒 70%以上	・観光コンテスト参加、富士宮市と連携したネパール文具寄付活動、日本高校会議所総会で発表など 20 名以上の生徒が対外的な活動をした。 ・課題研究発表会 1 月実施。 ・2 級以上取得 79/81 人 98% 1 級 3 種目以上取得 28/81 人 35%（令和 4 年入学生 2025. 1. 10 現在） ・「授業等で実践的な取組み」生徒肯定評価 80%（令和 4 年入学生）	A	A	・検定（資格）取得に向けての努力と成果が素晴らしいと思います。富士宮北高の強みの一つですね。 ・富士宮北高生徒の頑張りが新聞などで紹介される事が増加しているように感じる。継続していただきたい。 ・学校行事だけでは無く、様々な活動参加は大いに評価できます。世間では検定合格率より、目に見える活動の方が評価は高いです。
		・外部人材による講演会の実施 ・商業科体験入学会の実施	・弁理士による知的財産権講座、起業家、市議会議員、大学陸上部コーチ等による講演・講座を実施。 ・商業科体験入学会では簿記と情報の講座で体験授業を実施。	B	A	・地元の人材バンク等は活用できるのででしょうか。感想ですが、講師選びはなかなか難しい作業だと思います。 ・外部人材の活用は、生徒だけでなく職員の資質向上にもつながると思います。今後も積極的に行ってほしいです。 ・先生方の働き方改革にもつながる遠いのですが。関係性を創る仕組み作りは必要だと感じます。 ・外部講師を招聘し講演・講座を実施することが重要だと感じる。継続指定実施していただきたい。 ・商業科授業内容は富士宮北の特徴であると考え。高校で初めて学ぶことも多いことから積極的に P R していただきたい。 ・講座や講演は生徒に直接入ってくると思いますので、引き続き活動をお願いします。

エ	自己理解・目的意識を高め、系統的な指導を通して個に応じた進路実現を支援する。	・校外模試偏差値 50 以上が 1・2 年で 20 人以上、3 年で 10 人以上 ・「北高は生徒一人一人に応じて、計画的な進路指導が行われている。」生徒肯定評価 90%以上、保護者肯定評価 80%以上 ・「進路決定先満足度」3 年生肯定評価 90%以上	・3 年生 11 月共催マーク模試では国英歴文系成績で偏差値 50 以上が 8/22 名、数理英理系成績で 3/23 名、2 年生 11 月総合記述模試国数英総合 17/105 名、1 年生 11 月総合記述模試国数英総合 16/120 名であった。合計人数は 44 名。 ・「北高は生徒一人一人に応じて、計画的な進路指導が行われている。」生徒肯定評価 89.42%以上、保護者肯定評価 88.9%以上 ・「進路決定先満足度」3 年生肯定評価 93%以上	B	A	・数字的には達成していると思います。年々進路選択の幅が広がりますので数字による判断もそれに合わせて難しくなるのではと思います。 - 余談ですが以前、都立大の先生（当時の学長補佐）が分析したところ入学後に最も伸びた学生は自己推薦で入ってきた者だと伺いました。モチベーション型の学生と比べて高かったのが背景にあるとのことでした。一方、最も伸びなかったのは…。 ・外部人材の活用は、生徒だけでなく職員の資質向上にもつながると思います。今後も積極的に行ってほしいです。 ・生徒の進路実現に向けて先生方が寄り添った指導をされていると感じる。
		・生徒の進路意識を向上させるため、学期に 2 回以上自らの行動を記録させ、学期に 1 回程度内容を振り返ることで、その後の行動が主体的で意識的になること ・「学びの基礎診断」としての測定ツールを活用し、学年等で検討会を実施し、進路指導に活用する。	・「学びの基礎診断」として、スタディーサポートを例年実施しており、ベネッセによる結果の見方や情報共有を学年ごと実施した。	C	C	・次年度以降、取り組み方法を変更するとのことですので期待しています。 ・計画的な進路指導が行われていると感じている生徒が約 90%いることを考えると概ねできているのではないかと感じる。 ・先生方だけでなく、生徒と保護者間にも同じ事が言えるのではないかと考える。 ・100 点は無いと思いますので、色々とチャレンジしてみてください
		・新しい入試に対する情報を収集し、その結果を生徒に伝える機会を学期 1 回程度持つことで、生徒と教員の情報共有ができること	・今年度から共通テストに組み込まれる教科「情報」については、専門教員がいない中で、外部から情報を集めたり、生徒に問題集を薦めたりするなどした。また、情報課の先生方の協力も得られ、勉強会を実施できた。	A	A	・先生方の努力やご苦労が伺えます。 ・外部の力を活用することが非常に大事であると感じる。 ・勉強会の対応等大変感謝しています。特定の先生に偏る事なく特異分野で分担できる様にし負担を減らし取り組んでいきたい

オ	多様な活動への参加を通して、自己有用感・達成感、豊かな人間性、共生意識、社会的資質・能力を育成する。	・「充実した部活動により人間性が高められた」と答える生徒 85%以上 ・ボランティア活動に参加 40%以上 ・生徒会を中心としたボランティアの参加 4 回以上 ・生徒会の生徒を中心としたランチミーティングの実施…年間 10 回以上 ・よりよい学校づくりや校則の見直し等に、生徒が積極的に参画する経験を通して、物事が成就する過程を経験させ、自己肯定感の高揚を図る。	・「部活動に参加し、人間性が高められた」生徒評価 89%(±0%) ・「ボランティア活動に参加した」生徒評価 47%(+7%) ・生徒会を中心としたボランティア参加 4 回実施。 ・生徒会の生徒を中心としたランチミーティングの実施 10 回。校長とのランチミーティングはうち 7 回 ・生徒会を中心としたスローガンの作成を実施。 ・生徒総会で文化祭のルールの改正案を可決し、施行した。	A	A	・「人間性を高められた」との質問が子どもたちに考えさせる幅があり、とてもいい質問と思いました。 ・ボランティア活動参加率が 7%も上がったことは素晴らしいことです。生徒の人間性や社会性が高まることにつながると思います。 ・生徒たちの輝きや活躍が見られて素晴らしい。 ・校長先生とのランチミーティングを 7 回も行っていることにはびっくりしました。とても良いことだと思いました。 ・生徒会等自ら作った考えたことが自分たちで変えられたという実感が自信につながり、達成感、満足感、自己有用感へとつながると思います。 ・生徒が自主的に活動している様子が感じられる。 ・充実した内容となっています。来年もより積極的な活動をお願いします。
		・朝読書を時間通り始めているクラス 100% ・奨励図書 of 生徒公募、ビブリオバトル活動の継続 ・図書貸出全校で 1,000 冊以上	・ビブリオバトルの取り組みは良好である。 ・ブックフェア、図書購入、読書週間を行った。 ・図書貸出冊数は、全校で 720 冊だった。	B	A	・普段の生活や授業もデジタルが増加する中で紙媒体に関心を持たせる何かが必要なのかもしれません。 ・活字に親しむ、慣れる活動は大切だと思います。 ・読書離れが進んでいる中、評価は高いと思います。今後は電子書籍の導入も必要かもしれません
		・「学校は清掃や整頓がきちんと行われていてキレイである」職員評価 60%以上	・「学校は清掃や整頓がきちんと行われていてキレイである」職員評価 49%	C	B	・新校舎への引っ越しによって変化するのでしょうか。また、職員評価が低いポイントを探ってみてはいかがでしょうか。 ・富士宮北高は敷地が広いので、清掃は隅々までいきわたらないと思います。 ・広大な敷地を有する学校であることから清掃が行き届くことは難しいと思うが、新校舎も完成することから、生徒が愛校心を持ち、自主的に清掃や整頓に取り組むよう指導をしていきたい。 ・整理、整頓、清掃、は客観的にはできていると思います。

		・分校との交流 20 回以上 ・富士宮分校生徒とのプランターの植栽活動の実践（年 1 回以上）	・分校との交流は庭園・美化委員会による植栽活動 2 回 清掃交流の実施、保健委員会による合同保健委員会 2 回 実施することができた。	A	A	・インクルーシブな活動で子どもたちはかなり変化すると思います。 ・分校との交流は、富士宮北高ならではの活動ですね。生徒に思いやりの心が育つと思います。 ・充実した交流が進められていると感じます。お互いに顔が見える関係性でありたいと期待しています。 ・非常にいい取り組みである。継続して欲しい。 ・良い活動だと思いますので、来年も引き続きお願いします。
		・分校との交流 20 回以上 ・富士宮分校生徒とのプランターの植栽活動の実践（年 1 回以上）	・富士宮分校の交流は、北嶺祭体育の部、庭園・美化委員会による植栽作業、一年部生徒の交流等を、20 回以上行うことができた。	A	A	・分校生は宮北生徒さんの影響をかなり受けています。交流の中で、生徒だけではなく、職員間の交流も深まっていくことに期待しています。 ・引き続き一体となり活動をお願いします。
		・教職員向け校内研修 2 回以上 ・生徒の地域防災参加 60%以上	・職員向けに、防災の校内研修を 2 回行った。 ・生徒の地域防災参加率は昨年同様 33%だった。 ・「防災訓練等で生徒の防災意識が高まっている」が生徒 91%、保護者 87%、職員 95% に伸びた。	A B A	A B A	・参加率については一概には言えませんが、有事の際は高校生の存在は非常に大切だと思います。 ・防災に関する研修は、とても大事だと思います。安全だから安心という学校づくりにつながります。生徒に「自分の命は自分で守るという」という意識が育つと思います。 ・分校とも連携がとれるとありがたいです。 ・地域にとって高校生の存在は大変重要である。継続して欲しい。 ・災害の多い時代ですので、自分事として参加をお願いします。生徒の地域参加は部活等もあり難しいと思われる。その分校内での訓練を充実させてください

		・月4回以上のホームページの更新 ・Instagram等によるタイムリーな配信（「北高ニュース」をリアルタイムで配信する） ・PTA、学校後援会及び同窓会との連携強化	・「地域や保護者に積極的に情報発信をしている」が、保護者 83%、職員 97%と伸びた。 ・ホームページをリニューアルして見やすくなった。 ・新規にInstagramを導入、1/16現在の投稿数327件、1カ月当たりの閲覧回数約15万回。 ・「本校のPTAは活発である」が保護者 95%と伸びた。 ・PTA役員会等のシステムを変え、役員会が円滑に進むようになった、 ・PTAの各委員会が活発に活動するようになった。	A	A	・Instagramも定着しているようですので継続していくことが大切かと思います。 ・保護者が熱心に活動してくださっていますね。職員と保護者が良い学校をつくっていこうとしていることは、大変良いことだと思います。 ・SNSの発信は幅広く影響があり、魅力発信に繋がっていると思います。 ・Instagramによる情報発信により、生徒が生き生きと学校生活を送っていることが伝わっている。 ・ご担当される先生方は大変ご苦勞をされていると思うが、このような活動が受験者数の増加に繋がっていると思う。今後も継続していただきたい。 ・自分もチェックしています。現在SNSが主要なツールになっていますので、積極的な活用をお願いします。PTA活動については、奉仕作業をみても皆さん積極的に参加いただいています。
		・一日体験入学アンケート、満足度70%以上 ・魅力的な体験入学および公開授業の実施	中学生 97% 保護者 98% アンケート高評価 中学生 100%	A	A	・満足度がとても高いですね。工夫を凝らしているのでしょうか。 ・評価は高かったです。これから私立との差も無くなりますので、公立高校の利点を積極的にアピールしてください。
		・効果的な広報資料の作成と中学校訪問年3回実施による志願者の確保	・広報用の資料やスライド改善 ・Instagramの開設 ・中学校説明会8校実施	A	A	・情報発信の工夫をしている様子がうかがえます。大事なことだと思います。 ・文武両道にて校庭も広く部活動も充実している等、アピールをお願いします。
		・校内研修参加 95%以上、満足度 80%以上 ・事例研究、グループ研修を年3回以上実施 ・校外研修の報告することで情報共有	・校内研修参加率、満足度ともに 95%以上だった ・指導力向上のための校内研修に積極的に参加している 89% ・チーム研修を4回実施 ・1月末に「総合的な探究の時間」の先進校視察予定	A	A	・引き続き研修会等に参加し教育が停滞しない様、お願いします。

	上を図り、安全で信頼される学校づくりを推進する	・コンプライアンス委員会を年3回開催し、職場環境や教職員の勤務状況を把握して適切に対応 ・コンプライアンス通信を配布し注意喚起	・コンプライアンス委員会を年3回開催 ・コンプライアンス研修は毎月実施し、さらに「懲戒処分の公表について」のタイミングに合わせて朝の打合せ時にもミニ研修を実施できた。 ・2件の教員による不祥事が起こってしまった。	C	C	・特効薬がないので大変です。 ・朝の打合わせ時のミニ研修会は、とても大事だと思います。不祥事防止につながると考えます。 ・これからの取組が大切になると思います。 ・先生方の熱心な指導が体罰と捉えられることがあり、大変難しい時代であると思う。 ・生徒の捉え方もあり、難しい問題ですが、まずは生徒や保護者から信頼を得る様に、方針の説明会等開いてみてはどうでしょう。
		・各教室への消毒設置 100% ・感染症・熱中症の注意喚起を年3回以上実施	・各教室への消毒設置 100% ・ほけんだよりや掲示物により、感染症・熱中症の注意喚起を学期に1回以上実施することができた	A	A	・感染症や熱中症に関する情報は、生徒に継続的に与えていただきたいです。 ・ルールや対策がしっかりととれていて良い。 ・感染症の拡大防止には家庭の協力も必要であると考えます。生徒への注意喚起は継続して実施していただきたい。 ・ならない対策として、普段から体調管理に気を付け免疫力を上げる様、指導お願いします。
		・監査等における指摘事項0件 ・光熱水費の前年比増 10%以内（空調稼働分の節約） ・学校運営に係る予算について前年比 10%節約 ・施設設備安全点検月1回以上により、事故発生件数0件	・監査等における指摘事項はなく、達成できた。 ・特別教室の空調等設備の増加やコロナ明けの活動再開を受け光熱水費の増加は10%を超えてしまった。 ・施設設備安全点検は都度行うも、側溝のふたの破損による事故が1件発生してしまった。	B	B	・監査による指摘を受けなかったことは、健全な経済管理ができていているということですね。とても大事なことだと思います。 ・光熱水費の増加が10%を超えてしまった事は仕方がないと捉えます。生徒には、空調を含めて快適な環境で学習に取り組ませてほしいです。 ・物価高の中ではあるが、生徒たちの学びやすい環境づくりは大切であるため、致し方ないと思います。 ・地球沸騰化といわれる現代において、空調活用することは非常に大切なことだと思う。電気の消し忘れなどの無駄をなくす指導を継続していただきたい。数字にとらわれる必要はないのではないかと感じる。 ・法令に順守する様お願いします。特に夏場の熱中症対策については、光熱費をケチらずに積極的にエアコン等を使用願います。

ク	教職員の多忙化解消に向け、「業務改善」に取り組む。	・ストレスチェックの結果が県平均より良好 ・職員会議は協議事項の意見交換を主として、連絡事項は分かりやすい資料の配布で簡略化 ・業務のデータを活用した効率的な業務の実施、次の担当者のために業務のマニュアル化 ・定期テスト監督の平準化	・ストレスチェックの結果は県平均より良かった。 ・管理職打合せや運営委員会のペーパーレス化を実現できた。	B	B	・学校は、ストレスがたまりやすい職場です。ストレスチェックの結果が県平均よりも良かったことは、職員間だけでなく生徒や保護者等との人間関係が良好だからだと思います。ストレスチェックはこれからも行っていただきたいです。 ・業務改善は、これからも続けていただきたいです。 ・業務の効率化や働き方改革は必要であると感じるが、先生方の「やりがい」「働きがい」と一体化していないと解消につながらないと感じる。 ・先生方は大変頑張ってくさっている。生徒と向き合いながらワークライフバランスをとることが大変だと思うが、頑張っていたきたい。 ・一定の教員に業務が集中しない様、分散化をお願いします。また、一般企業でも無駄な会議は極力無くす取り組みもあり、会議体の有り方も簡略化してください。
---	----------------------------------	---	---	---	---	--